

## ☆資料利用状況

- 60・5 鉄地金銅荘銀留心葉形杏葉 他10点  
名古屋博物館「古墳時代の馬具展」  
へ貸出
60. 5 獣面鍔頭大刀柄頭 1点  
島根県立八雲立つ風土記の丘「銘文入  
大刀の世界—岡田山1号墳出土大刀銘  
文表出記念展—」へ貸出

## ☆受贈資料

60. 5 ウシャブティと副葬人形（エジプト考  
古資料） 計3点  
加藤一朗先生（文学部教授）より寄贈  
される（6ページ参照）

## ☆購入資料

- 漢代明器「緑釉猪圈」 1点（14ペー  
ジ参照）

## 関西大学考古学等資料室紀要（昭和59年3月）第

### 1号目次

#### 序

新宮市神倉神社ゴトビキ岩下出土の銅鐸

徳島県犬伏旧釈迦堂出土瓦経の復原研究(二)

——『仏説観普賢菩薩行法経』について——  
漢式鏡の銘文の一二

——日有喜・繁精白・七子九孫銘——

茶あび祝

円山応挙の眼鏡絵と歌川豊春の浮絵について

——舶載版画と浮世絵版画との関連——

関西大学考古学等資料とその恩人たち

シカゴ大学東洋研究所博物館

### 資料編

関西大学考古学等資料室概要

学芸員資格の取得とその後の進路について

関西大学博物館実習日程（昭和五十八年度）

関西大学考古学研究室開設30周年記念 考古学論  
叢——目次

『阡陵』——関西大学博物館学課程創設二十周年  
記念特集——目次

『阡陵』（関西大学考古学等資料室彙報）目次

関西大学考古学等資料室規程

考古学等資料室紀要第2号（昭和60年3月）

目次は次号収録

## 編集後記

本学創立100周年記念事業の一環として、総合図書館内に「内藤文庫」が架蔵されることになった。そこで内藤湖南に関する研究の一端を収載した。横田、奥村、小野先生には特にお願ひし玉稿をいただいた。ここに感謝申し上げます。

湖南晩年の隠棲地「恭仁山荘」が有効に活用されると同時に、湖南研究が進展すれば幸いである。加藤先生より今回エジプト考古資料（第6ページ参照）の寄贈を受けた。改めてここに感謝申し上げます。

本資料室も今年度旧図書館が改装され、移

転することが決定した。来春には新装なった資料室において、充実した展示を行ないたいと考えています。

表紙の写真は、兵庫県川西市加茂遺跡出土の「壺形土器」であり、弥生中期の完形土器である。本学考古学研究室と関西学院大学との合同調査において発掘されたものであり、施文は畿内第Ⅲ様式の櫛描文で口縁部を広くおりまげ、その口縁部を少しもりあげている。また口縁端には3条の凹線文をつけている。高さ36.7cm、口縁部の経21.9cm、胴部の最大径23.7cmで大型の壺であり最も優美な形態である。

〔角田芳昭〕